



# GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局  
宮崎市橋通東3-1-22  
宮崎合同庁舎  
TEL0985(38)8821

## 令和5年9月統計

【労働災害発生状況】 死亡災害7件、休業災害994件（年計・コロナ感染症を除く休業4日以上之死傷災害）  
【有効求人倍率】 1.32倍

## 宮崎県最低賃金を改定！

JR宮崎駅西口広場で宮崎県民に訴えました。

確認しよう、最低賃金!



テレビ局の取材で最低賃金額の確認を呼び掛ける坂根局長（右）



改定された最賃リーフを配布する坂根局長（左）

10月6日から宮崎県最低賃金が時間額897円に改定されることを広く周知するため、坂根労働局長ら宮崎労働局職員6名が最低賃金改定前日の10月5日の朝から宮崎駅西口広場でリーフレット入りのポケットティッシュを配布しました。

通勤・通学者など約400人に配布し、その様子はUMKニュースや

宮日新聞でも報道されました。

今年のポスターは俳優の藤原紀香さんを起用して「確認しよう、最低賃金！」と呼びかけています。最低賃金は時給だけでなく月給や日給にも適用されます。働いている方は自身の賃金が最低賃金を下回っていないか、ぜひチェックしてください。

## 業務改善助成金が活用できます。

～最低賃金の引上げに対する支援制度の周知を依頼～

坂根局長は、9月11日19日及び25日に、経営4団体、連合宮崎及び宮崎県社労士会を訪問し、「傘下企業の皆様等に対し、業務改善助成金の活用に向けた働きかけ」をお願いしました。

同助成金では、事業場内で最も低い賃金を一定以上引き上げ、設備投資等を行った事業者に対して、その費用の一部を助成していますが、8月31日から対象事業場の拡大、事業場規模50人未満の事業者における事業場内最低賃金引き上げ後の申請を可能とするなどの拡充が図られました。

宮崎労働局では事業者の皆様の負担の軽減につながるよう「業務改善助成金」の活用促進について、さらなる周知・広報に努めているところです。

### 【問合せ先】

業務改善助成金コールセンター：  
0120-366-440



河野・経営者協会専務（左）



中原・商工会議所連合会専務（左）



酒匂・商工会連合会専務（右）



野口・中小企業団体中央会専務（左）



中川・連合宮崎会長（左）



川越・社会保険労務士会会長（右）



最低賃金制度のマスコット  
チェックマン

また、今年度の宮崎県最低賃金額は前年から44円引き上げられ、引き上げ額は過去最高となっています。最低賃金の引き上げで影響を受ける中小企業や小規模事業者の皆様には支援策として「業務改善助成金」を用意していますので、是非、活用をご検討ください。



改定された最賃リーフを配布する吉野基準部長（右）



## ふれあい合同面接会を開催しました。

### 障害のある方の“働きたい”を応援



都城地域では、9月29日に令和5年度都城障害者ふれあい面接会を開催しました。

都城障害者ふれあい面接会は、管内での就労を希望している求職中の障害者の方に多くの求人事業所との情報交換の場を提供し、ま

た、事業所間における情報交換の場を提供するとともに、障害者雇用率未達成の企業を中心に障害者の積極的な雇用促進を図ることを目的として年に1回開催をしています。

当日は、21社の事業所、60名の求職者と昨年度より多くご参加を頂きました。当日参加された事業所からは、「障害者の就業意欲の高さを知った」、「多くの方々の

意見を聞いて勉強になった」、また求職者からは、「積極的に障害者雇用を考えている企業が多かった」、「いろいろな業種の話聞いた」といった感想を頂きました。

面接会を通じて、複数の採用や職場見学及び実習につながっているところです。来年度はさらに改善を重ねて、有意義な面接会にしてまいります。



## 各種助成金説明会

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構宮崎支部主催「各種助成金等説明会」へ後援として参加（8月22日～9月28日）

日南、日向、都城、延岡、宮崎の計5会場において、助成金センターで取り扱っている助成金の中から障害者・高齢者に関する助成金の説明を行いました。

95社の事業所、111名の方にご参加いただき、参加者からは、「大変参考になった」「制度や内容について理解できた」等の声がありました。

助成金センターでは、引き続き、説明会及び事業所訪問等をおして助成金制度の周知・説明に取り組んでまいります。



## 経営者協会への講師派遣



円内は伊藤職業安定部長

9月28日、宮崎県経営者協会が主催する定例会に伊藤職業安定部長が出席し、「宮崎における雇用情勢と雇用対策について」と題し、

現在、宮崎県が抱える人口流出や人手不足等の課題に対し、人口構造の変化や雇用失業情勢のデータを基に労働局や県、各自治体が展開している各種支援施策について講演を行いました。

熱心にメモを取られている方も見受けられ、今後も課題解決のため、関係者団体や各事業場と労働局がより一層連携し推進を図ることの必要性を改めて感じる機会となりました。

## 就職氷河期世代支援機関見学ツアーを開催

35～55歳の「就職氷河期世代」の求職者を対象とした支援機関見学ツアーを令和5年10月13日に実施しました。

5名の方が、ポリテクセンター宮崎から始まり、みやざき若者サポートステーション、県ひきこもり地域支援センターを訪問し、各機関の連携や実際に施設を利用した方等から話を聞きました。

参加者からは「参加して良かった。次に動き出すきっかけが見つかった。」と好評でした。



ポリテクセンター宮崎



みやざき若者サポートステーション



県ひきこもり地域支援センター